

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: 知的財産センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	A	A

## 【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		学部、大学院の学生に提供する各種講義に加え、企業の実務家による実践的教育、政府機関及び企業の実務家による進路選択等に関する公開講義を実施し、特に後者についての規模の拡大があったことが評価できる。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【産学共創・ 社会学共創活動】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		大阪大学、大阪教育大学及び大阪工業大学の三大学において協定を締結し、内閣府知的財産戦略推進事務局が推進している知財教育に関する地域コンソーシアムの構築に貢献したこと、小中高に対する知財教育を始めたこと、特許庁の受託事業において開発した知財教材を特許庁のウェブサイトで公開したこと、研究科や産学共創本部などと共同で知的財産に関する研修を行ったことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

## 【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 常勤教員一人あたりの論文数について、意欲的な数値目標を設定し達成したことが評価できる。 また、常勤教員基礎データ入力率については、100%を達成していることが評価できる。</p>
---